

法人（事業所）理念	利用者一人ひとりが、個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに生活し、又、その有する能力に応じ自立した生活が送れるように支援するとともに、安らぎのある暮らしの場を地域社会において営むことができる環境づくりを推進する		
支援方針	子ども達が生活能力の向上のために必要な訓練を行ったり、社会に出て行く時に必要なスキルを獲得していく、将来を見据えた継続的な支援を行う ・自分のことは自分で決め、嫌なことも頑張る力を付けていく ・自分自身のことを客観的に捉えることができ、肯定的に自分理解を深め、特性に合った将来像を描けるように働きかける		
営業時間	① 午前9時30分～午後1時30分	② 午後1時30分～午後5時30分	送迎実施の有無 あり 柳井市・田布施町・平生町（各地域一部除く）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活スキルの獲得の為に、自分で身支度や物の管理等が出来るようにする 心身状態の把握するために、体調の確認や気分の変化など定期的に行う、体調の良い悪いが伝えられるようにする 定期的に通所することで生活リズムを整え心身ともに安定化させる（不登校児） 自分の体の成長に対して見通しが持てるようにする、年齢に合わせた体や心の変化への対応、身だしなみや作法の指導を行う <p>・「お元気」チェック ・入室時の持ち物の片付けと準備 ・忘れ物確認 ・更衣（服をたたみカバンに入れる） ・身だしなみや清潔の確認 ・スケジュール管理 ・思春期対応支援</p>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 様々な課題や遊びを通して、身体や手先の使い方を学び身に付けていく 感覚過敏に関連する困りごとについて、自分自身も理解し対処法を身に付けていく 力の入れ方や疲れの感覚がわかり、自分で調整できるように練習し身に付けていく <p>・さまざまな感覚が体験できる遊び ・感覚の感じ方への配慮（敏感・鈍感） ・好ましい姿勢や道具の使い方（制作課題） ・力の加減の視覚化 ・疲れ具合の表し方の視覚化</p>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の得意なことや苦手なことを知り自己理解を促すことで、得意なことを伸ばし苦手なことにもチャレンジしようとする気持ちを支援する 自分の気持ちや行動に気付くことができ、調整しようとする適切な行動への対応を養成する 危険なことや善悪の判断がある程度自分で見て理解できる力を付けていく 空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用することで見通しを持った自主的な行動につなげていく 季節の変化への興味などの感性形成のための活動や課題を行う 机上課題として発達レベルに合わせた教科学習の支援を行う、またさまざまな概念形成を学ぶ指導を行う <p>・視覚支援（スケジュールや手順の提示） ・概念形成（機能や属性・数・形・色・音の変化など）を促す教材 ・天気、気温、日付の把握と確認 ・季節のイベントの開催 ・教科学習の支援（国語・算数・理科・社会・英語） ・自己コントロールのトレーニング ・ルールを守る訓練 ・避難や不審者 ・個人情報の管理 ・提出課題の把握</p>	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 机上課題を取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き向上のための指導を行う 自分の思いや要求を相手に伝える方法など、場面や相手の状況に応じた適切なやり取りを促す 適切なコミュニケーション能力の獲得、自己表現力の向上を目指した指導を行う <p>・ことばの概念形成の課題 ・自己紹介 ・小グループ遊びにおける場面設定 ・PECS ・ルールなど絵カードを使って視覚化 ・「先生あのね」対話でのやり取り ・発声練習</p>	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて子ども同士の協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して適切な人間関係の形成を促す 他者の気持ちや意図することを理解し、適切な行動を取ることができるなど、社会に適応するための適切なソーシャルスキルの獲得を支援する アタッチメントの安定、自分の感情や気持ちに関心を向け情緒の安定をはかれるように指導を行う 地域の施設などへの社会見学、地域や事業所内のイベントを通して、地域を知る、他者との関わりを持つ支援を行う 不登校であっても子どもの意思を尊重し、学校や家庭と連携を図りながら、必要な対応や方策の検討を行う <p>・勝敗などのある課題 ・ごっこ遊び ・ソーシャルスキルトレーニング ・子ども同士のやり取りや交渉 ・気持ちのコントロール ・行動を認め自尊心を高める ・課外活動</p>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの信頼感を育むと共に子どもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続する 家族の子育てに関する困り事に対する相談援助、家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供、きょうだいに対する相談援助をする 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備をする 進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助をする 移行先と支援方針や支援内容の共有や支援方法の申し送りをする 併用利用先との支援内容や様子の共有を行う
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校や児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助を行う、必要時は支援会議を開催し協議する 担当の相談支援事業所や利用している福祉サービスや行政らと、生活支援や発達支援における連携を取る 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修を実施、地域で開催される研修会の受講等で職員の専門的な知識やスキルの向上をはかる 地域の学校や福祉機関等との積極的な関わりを行うことで情報を更新していく
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日や長期休暇等に、イベントを開催（クリスマス会・アウトドアクッキング等） ・調理実習 ・地域の商業施設への外出 ・地域のイベントに参加 ・地域の観光資源への外出を行う 平日午前中に、調理実習 ・地域の商業施設への外出 ・地域のイベントに参加 ・地域の観光資源への外出等を行う 		